



子どもたちに大人気の「はっとくん」

質問 水沢病院の耐震診断の状況は。

答弁 精神科病棟は耐用年数が過ぎており、危険な状態である。検査手術棟は、震度6強には耐えるが、倒壊の危険性もある。本館は今後9年位で耐用年数を迎えることから5・6年経つと本格的な改修が必要になる。移転新築等を早急に検討したい。

産業経済部門

農工商連携の強力な推進を

質問 「奥州はっと」の普及に向けた具体的な取り組みは。

答弁 「はっとフェスティバル」の開催、ゆるキャラを活用した物産展や誘客キャンペーン等での普及拡大を継続するとともに、市内の旅館や飲食店でも一品に含めてもらう取り組みを進める。

質問 民間の役割や機能が重複する市の公共施設は見直しをしていく方針とあるが、どのように進めるのか。

答弁 現在、基本的な考え方となる指針を作成している。これに基づき、各部が所管する施設を一つ一つ検証し、市民理解を得る説明を行いながら進めていく。

質問 商店街活性化対策の新規出店補助金はどのようなものか。

答弁 現行の空き店舗対策補助金を充実拡大し、水沢区に限定していたものを江刺・前沢区にも拡大する。また、家賃補助だけではなく改装費等の初期費用も補助するもの

である。

質問 燃料費が高止まりする中、市内温泉施設の熱源として、間伐材や廃材等を活用することができないか。

答弁 熱源とすれば薪やチップが一番効率が良いとされている。モデル事業を立ち上げて、全市に広げていく取り組みを進めていきたい。

質問 ジョブカフェを2年後に開設する構想があるが詳細は。

答弁 生活就労相談窓口として開設するもので、どこに、どのような内容や体制で設置をすれば良いか、また、相談員のスキルアップ等を今後2年間で準備を進めていく。

質問 原発事故に伴う牧草の利用自粛にかかわり、畦畔草の取り扱いはどうなっているのか。

答弁 畦畔草の自粛解除方針は、県と国が協議を進めているが、まだ定まっていない。代替飼料

については供給される。

質問 公共牧野の平成25年度の放牧見通しは。

答弁 正式に決定していないが、前段の協議では、種山高原、胆沢の両牧野は放牧を行わない方向で進めている。阿原山牧野については一部で実施したいと考えている。

質問 鳥獣被害として、カラスによる果樹への被害が増加しているが、その対策は。

答弁 新年度は対象鳥獣を拡大し、カラスとニホンジカも対象にすることとしており、早急に対策を講じていきたい。

質問 経営感覚をもった農業者をいかに育てるかが重要であり、岩手大学が開設している「アグリフロンティアスクール」の理念同様の人材育成をすべきでは。

答弁 県では平成25年度から「いわてアグリフロンティア育成事業」を行うと聞いている。公開講

座等を奥州市で開催してもらい、受講生の他、広く市民にも聴講してもらえよう要望していきたい。また、将来的には、地域6次産業化ビジョン策定の中で検討していきたい。

質問 松くい虫の被害状況と、その対策は。

答弁 駆除量は、平成22・23年度は2600㎡、平成24年度は2400㎡となっている。また、予防として、ヘリコプターや地上からの散布、直注入を行っている。なお、被害木がどれ位あるか把握していない。

建設環境部門

質問 汚染土の共同置き場の設置について努力されているが進まない状況にある。大きな区切りではなく自治会単位などで、処理できる方法も考えていかなければと思うが、今後の見通しは。

答弁 合意を得たところ

から進めることにしているが、総論賛成、各論反対があり、了解が得られない状況にあるが、各区の振興会長等と検討しながら、今後も慎重に進めていかなければならないと考えている。

質問 非常備消防団員の防寒服等、装備の強化と団員確保の充実をはかるべきでないか。



出初式